



国分寺小 校長室だより

令和元年12月25日

～第12号～

榎の木陰

～今年もお世話になりました。よいお年をお迎えください。～



お陰様で、令和元年も大きな事故もなく終了することができました。今年、国分寺西小との再編元年でもありました。国分寺西小の活動を受け継ぎ、保護者の皆様には昨年度以上に多くの場面でご支援・ご協力をいただき、充実した年となりました。たいへんお世話になりました。

明日からは冬休みですが、まずは安全第一です。交通安全・防犯注意 危険な場所注意・危険遊具使用禁止・火遊び禁止等です。休み中も心掛けていただければ幸いです。私たち教職員は、子どもたちが自分で取り組めるめあてを決め、それを意識して生活できるように振り返りの時間をとることで、目標が達成できたことを実感できるように支援しています。これを繰り返すことで、徐々に自己肯定感を高めていくお子さんもいます。この冬休みには、ご家庭でもお子さんと相談して『家族のめあて』を決めたり、お子さんが決めた『自分のめあて』が達成できるようお声掛けいただけると幸いです。

～授業参観・PTA研修会・懇談会等、たいへんお世話になりました。～

12月4日(水)の授業参観・PTA研修会・懇談会では、ご多用中にもかかわらず、ご参加いただきましたことに感謝申し上げます。インフルエンザの関係で授業参観が実施できない学級があったことは、たいへん残念に思っております。



まず、PTA研修会では、マザーズコーチングスクール認定講師 シニアマザーズティーチャー 高橋美香先生を講師としてお願いし、『子どもの生きる力を育む親子コミュニケーション』を演題としてお話しいただきました。その中で『子ども達に失敗できる安心感を与えること』や『見守るコミュニケーションを意識して子ども達と話すこと』の大切さについてのご示唆をいただきました。まさに、「親（木の上に立って見守る）」という漢字そのものだな。」と思いながら聞かせていただきました。ぜひ、参考にしてください。

次に、学年懇談では、『ゲーム障害』（国際疾病分類の中で、依存症として認定されました。）を話題として、家庭におけるゲームの現状や指導のあり方について考えていただきました。生活に支障が出たり、不登校、ひいては引きこもりの原因となる可能性が現実化していることを考えれば、小学生時代のゲームとの関わり方が人生を大きく左右すると言えなくもありません。学校でも『ゲームやSNSとのつきあい方』について、子ども達に考えさせていきたいと思っております。学校と家庭が協働した指導体制を確立し、子ども達を守る環境を整えていきたいと思っております。

～プログラミング発表会に参加しました。～

12月14日(土)、南河内公民館で下野市プログラミングコンテストがありました。7月から活動してきた7名の子ども達が、『栃木県の名所・名物を教えてくれるPepper』についてプログラミングの内容を発表しました。今年度は、新しいプログラミング言語として『スクラッチ』を使いPepperを動かすプログラミング作りに取り組みました。（今年度の4年生からはこの言語を使って学習します。）みんなで協力して多くの課題にぶつかりながら完成させました。本番では、パソコンを操作し、Pepperを動かす人、パワーポイントを操作する人・プログラミングの内容や工夫したり困ったりした点について説明する人に分かれ、立派な発表ができました。次年度からは、Pepperを使わず、『スクラッチ』を活用した新たなプログラミング教育がスタートします。私達教師も、子ども達にしっかりと指導ができるように研修に励みたいと思っております。



～校内人権集会がありました。～



本校では、12月2日(月)に人権擁護委員さんをお招きして、校内人権集会を行うことにしていました。しかし、インフルエンザの罹患者が増えた関係で、急遽、校内放送で行うことにしました。(企画委員による寸劇や人権クイズは、延期としました。)校内放送の中で人権擁護委員さんは、『子ども達が参加している人権書道・人権絵画・人権標語作りは、社会の人権意識を涵養するために役に立っていること(人権を広げる活動そのものに参加している)』や『自分が困ることは人にしないこと・相手の立場に立って物事を考えること』『いじめにあったらSOSを出すこと～人権擁護委員さんへのSOSミニレター～』等についてお話をしてくださいました。

この後は、校内人権週間の期間に人権に関するDVDをみて、人権に関する意識を子ども達とともに私達教師も高めたいと考えています。ご家庭でも、機会がありましたら話題にしてください。

～避難訓練で、防災意識を高めました。～

12月3日(火)栃木県南部で、震度4の地震がありました。ちょうど業間の時間帯で、多くの子ども達が校庭で元気に遊んでいました。私も子ども達の様子を見るために校庭にいました。校内放送で、「地震が発生したので校庭中央に移動しなさい。」という指示がありました。子ども達のほとんどが、指示の途中でも躊躇なくグラウンドの中央へと走り大きな円ができました。見守る数名の教師は居ましたが、自主避難が『てんでん』(一人一人の判断で動くこと)にできました。避難訓練や防災学習の成果が出た一場面でした。



さて、12月13日(金)に火災を想定した避難訓練を行いました。避難先は、中学校の校庭です。避難訓練は、真剣に整然と行われました。本校は、グラウンドが狭く、火災の際に600人以上の子を安全に待機させる場所がありません。中学校の敷地に避難することは、子ども達の安全確保に必須のことと考えています。こうした避難訓練が実施できるのも、中学校のご理解あってのこと感謝しています。そして、将来どんな場所で生活しても『自らの安全を考え行動できる子』を育てていきたいと考えています。

～元気はつらつ体操の皆さんから、ぞうきをいただきました。～

今年も12月2日(月)に手縫いのぞうきをたくさん寄贈してくださいました。お一人お一人が、子ども達の健やかな成長を願い縫い上げてくださったものです。子どもたちはこのぞうきんで学校をピカピカにしてくれることでしょうか。たいへんうれしく思います。元気はつらつ体操の皆さん、これからも本校の交流室で歌や体操、子ども達とのふれあいを楽しんでください。皆様の温かいお気持ちが子どもたちに伝わり、心豊かな子が育っていくことでしょうか。心より感謝申し上げます。



～児童会が、朝のあいさつ運動をしました。～

中学生とコラボレーションしたあいさつ運動に引き続き、児童会の計画委員が朝のあいさつ運動を行いました。最初は、うつむき加減だった子ども達も、日がたつに従って目が合うようになり、声にも張りが出てきたと、昼の放送で計画委員が伝えてくれました。国小では、『あいさつをしよう』や『ありがとうを言おう』を合い言葉にさわやかな子ども達の育成を目指して参ります。ご家庭のご支援、よろしく願いいたします。



～国分寺中学校の皆さんから、プランターのお返しをいただきました。～

12月6日(金)、国分寺中学校からプランターに植えたお花(パンジーやビオラ)のおかえしをいただきました。以前『しいの木活動』の中で、地域に感謝を伝える活動のとして行った『花を贈る活動』のお返しとしていただいたものです。小中の繋がりがこうした活動を通して深くなっていくことを期待しています。国分寺中学校の皆さんありがとうございました。



☆児童に事件・事故等があった場合の緊急連絡先について(冬休み中・休日も含みます)

- 1 国分寺小学校に電話を入れてください。国分寺小学校 ☎ 0285-44-0004
- 2 国分寺小学校に繋がらなかった場合は、下野市学校教育課に電話を入れてください。下野市学校教育課 ☎ 0285-32-8918